

名古屋市 御中

分析レポート

名古屋市で働き、生活するにあたって、必要なもの・足りないものはありますか？



2024年02月16日



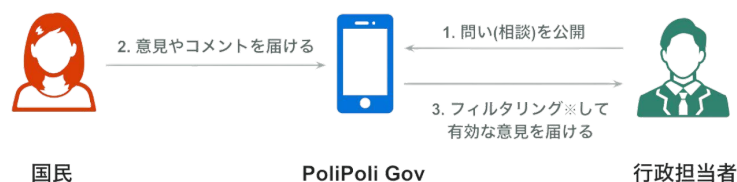
目次

01.意見募集の概要・実施結果・・・・	P.03
02.カテゴリごとの分析・・・・	P.08
03.具体的なコメントのピックアップ・	P.13
04.全体考察・・・・	P.17
05.付録：ワードクラウド・・・・	P.18

意見募集の概要・実施結果

- 実施内容：東京圏への人口流出を食い止めるため、名古屋市で生活する上でのニーズに関する意見募集を行った。
- 調査方法：デジタルツール「PoliPoli Gov」を用いたインターネットリサーチ
- 意見募集のテーマ：名古屋市で働き、生活するにあたって、必要なもの・足りないものはなんですか？
- 調査期間：2023/12/01～2024/01/24（55日間）
- 調査地域：全国オンライン
- ページ閲覧数：3,094PV
- 総いいね数：432件（レポート作成時点）
- 総コメントユーザー数：181人（*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- 総コメント投稿数：224件（*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）
- 回答者の属性（必須回答）
 - 年代：10代以下, 20代, 30代, 40代, 50代, 60代以上
 - あなたの職業：学生, 会社員・公務員, 自営業・役員, 無職
 - 性別：男, 女, どちらでもない or 回答しない
 - 名古屋市との関わり：名古屋市に居住・通勤・通学している, 過去、名古屋市に居住・通勤・通学した, 観光などで名古屋市を訪れた, 名古屋市を訪れたことはない

意見募集の仕組み

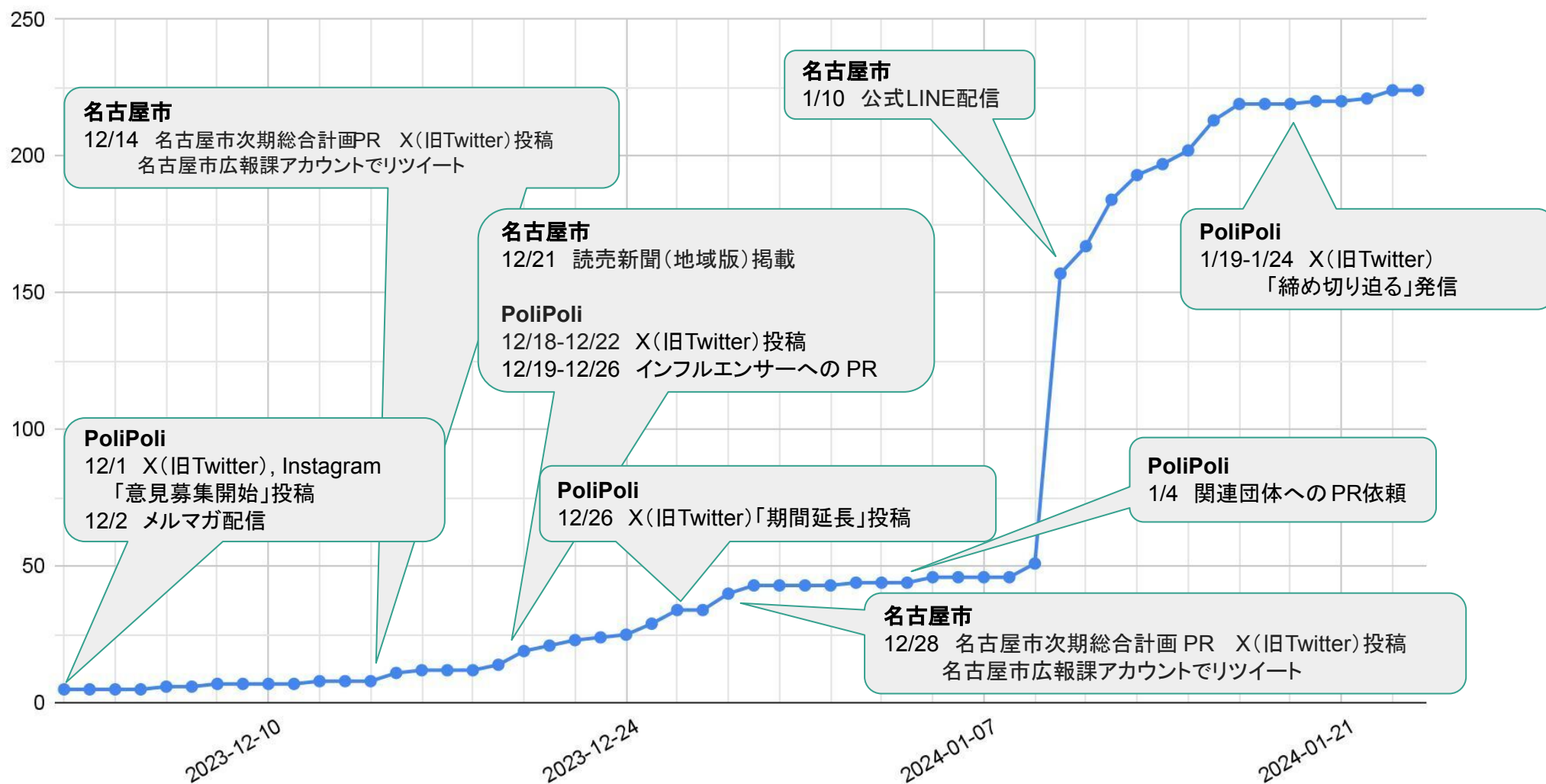


※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。



意見募集の概要・実施結果 | コメント数の日次推移

コメント数推移(日次)



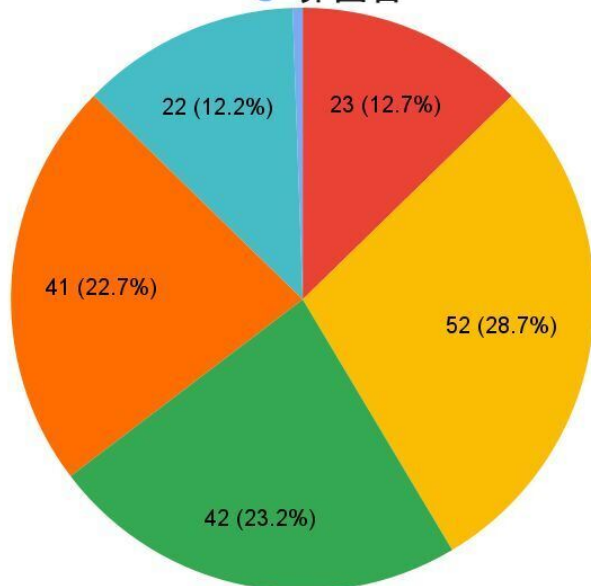
意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 年代については、**20代**が23人（12.7%）、**30代**が52人（28.7%）、**40代**が42人（23.2%）、**50代**が41人（22.7%）、**60代**が22人（12.2%）となった。
- 職業については、**学生**が3人（1.7%）、**会社員・公務員**が116人（64.1%）、**自営業・役員**が23人（12.7%）、**無職**が38人（21.0%）となった。

※返信コメントのみのユーザーは非回答と表示される

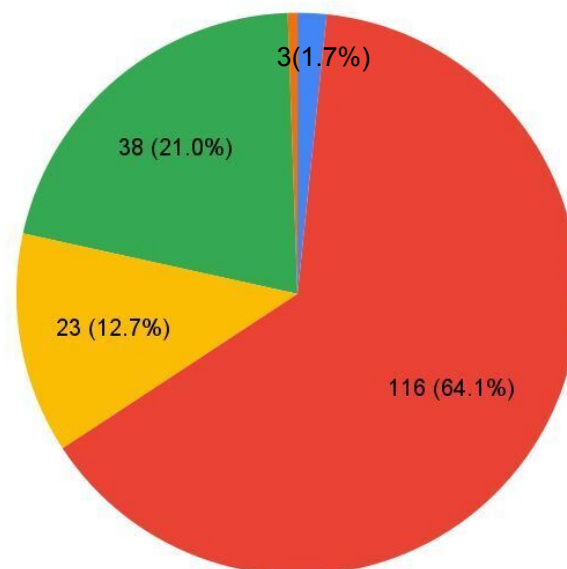
あなたの年代(UU 181人)

● 20代 ● 30代 ● 40代 ● 50代 ● 60代以上
● 非回答



あなたの職業(UU 181人)

● 学生 ● 会社員・公務員 ● 自営業・役員 ● 無職
● 非回答



※UU＝ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

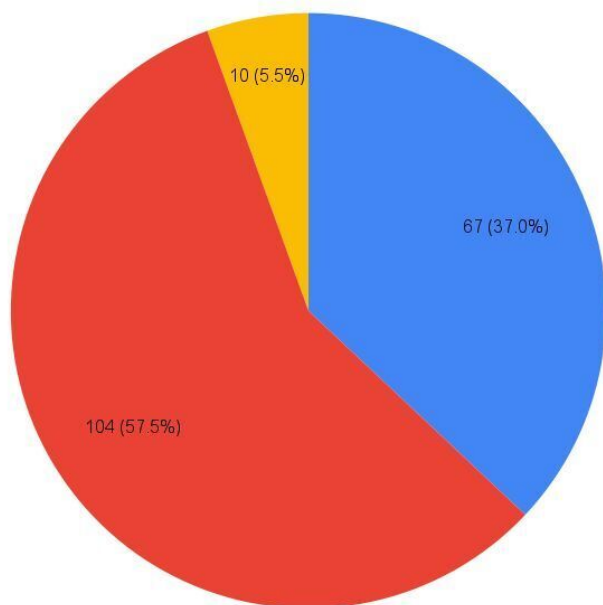
意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 性別については**男性**が67人（37.0%）、**女性**が104人（57.5%）となった。
- 名古屋市との関わりについては、**名古屋市に居住・通勤・通学している**が167人（92.3%）、**過去、名古屋市に居住・通勤・通学した**が11人（6.1%）、**観光などで名古屋市を訪れた**が1人（0.6%）、**名古屋市を訪れたことはない**が1人（0.6%）となった。

※返信コメントのみのユーザーは非回答と表示される（1人）

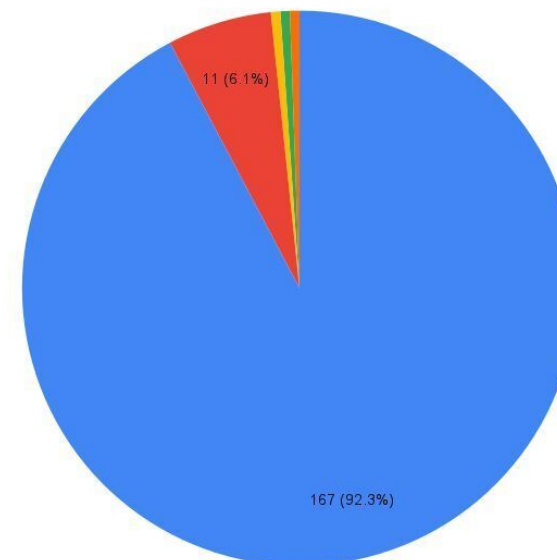
性別(UU 181人)

● 男 ● 女 ● どちらでもない or 回答しない



名古屋市との関わり(UU 181人)

● 名古屋市に居住・通勤・通学している ● 過去、名古屋市に居住・通勤・通学した
● 観光などで名古屋市を訪れた ● 名古屋市を訪れたことはない ● 非回答



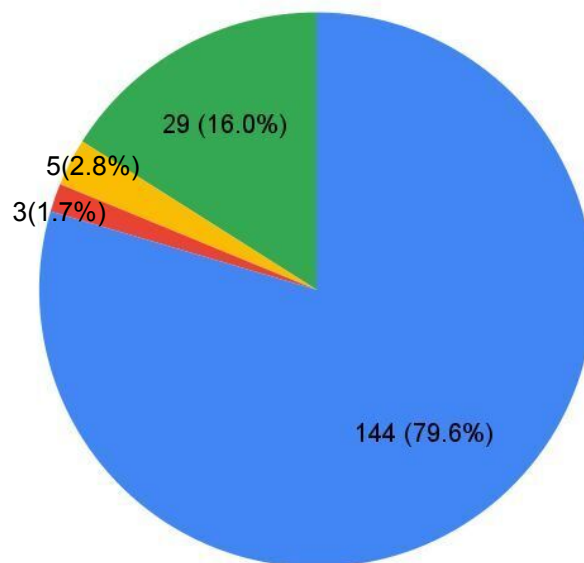
※UU＝ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

意見募集の概要・実施結果 | 選択式設問への回答

- 「今後、名古屋市に引き続き住む予定ですか」への回答については、名古屋市に定住する予定が144人（79.6%）、今後、関東圏へ移住する予定が3人（1.7%）、今後、関東圏以外へ移住する予定が5人（2.8%）、その他が29人（16.0%）となった。

今後、名古屋市に引き続き住む予定ですか？（UU
181人）

- 名古屋市に定住する予定 ● 今後、関東圏へ移住する予定
● 今後、関東圏以外へ移住する予定 ● その他



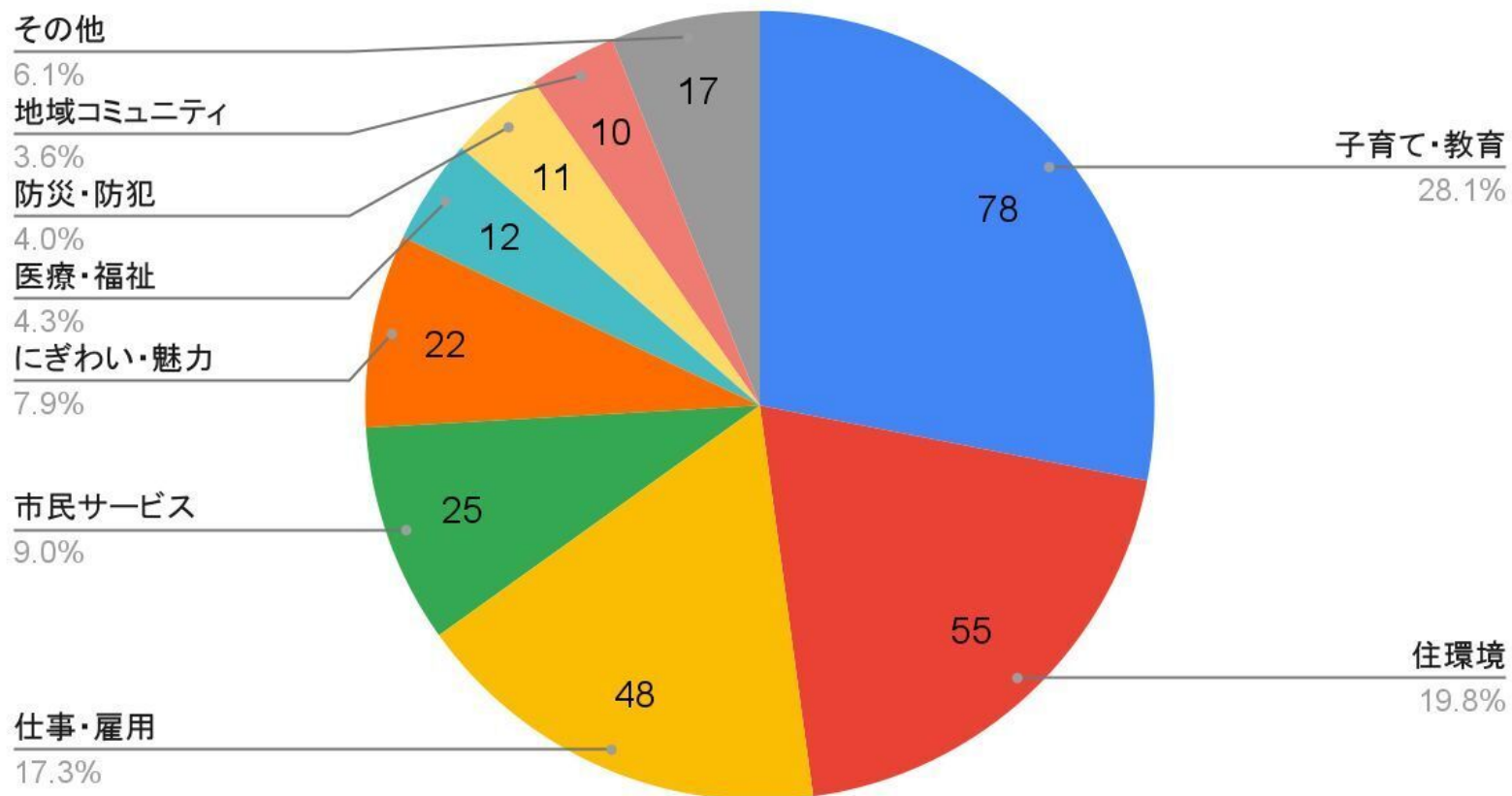
※UU＝ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

カテゴリごとの分析

- コメントについてカテゴリズを行ったところ、以下のグラフのとおりとなった。

※1つのコメントで複数カテゴリズしたものを含む。

カテゴリ別



カテゴリごとの分析 | 年代とカテゴリのクロス分析

- 年代とカテゴリのクロス分析を行ったところ、以下のとおりとなった。

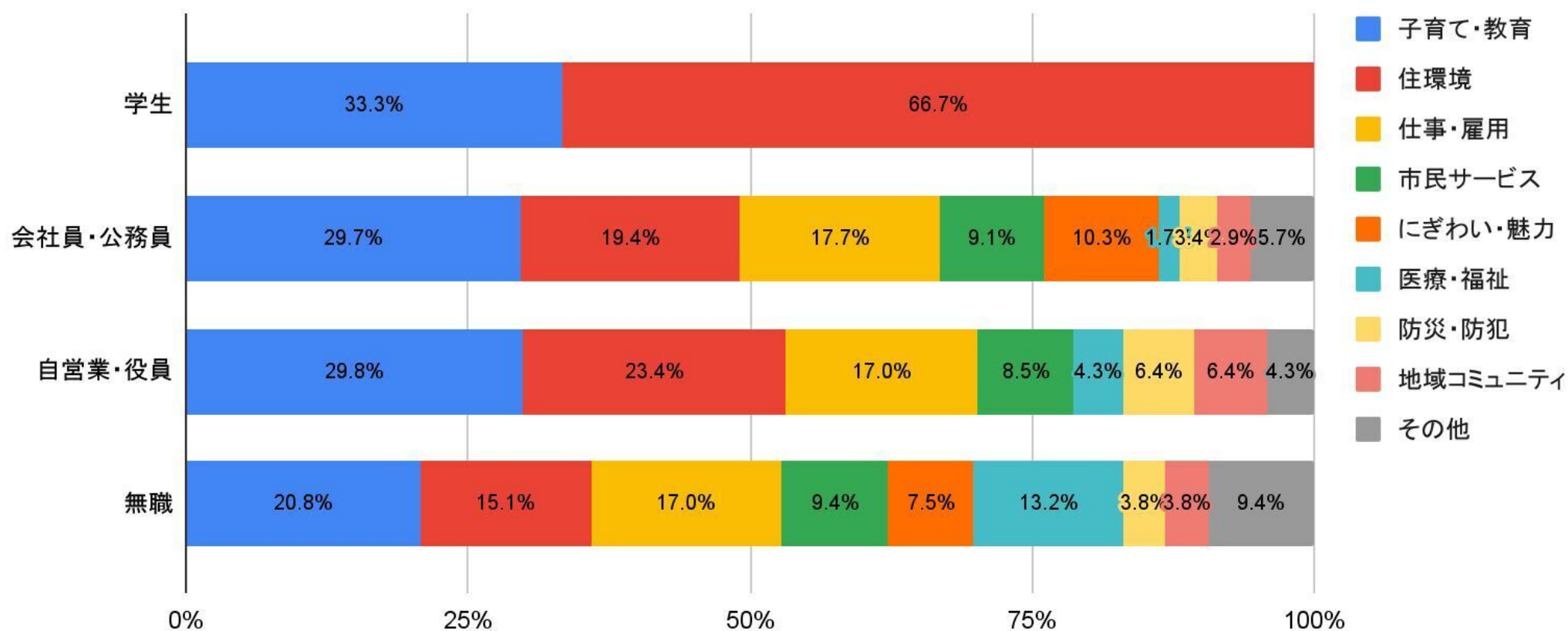
年代×カテゴリ



カテゴリごとの分析 | 職業とカテゴリのクロス分析

- 職業とカテゴリのクロス分析を行ったところ、以下のとおりとなった。

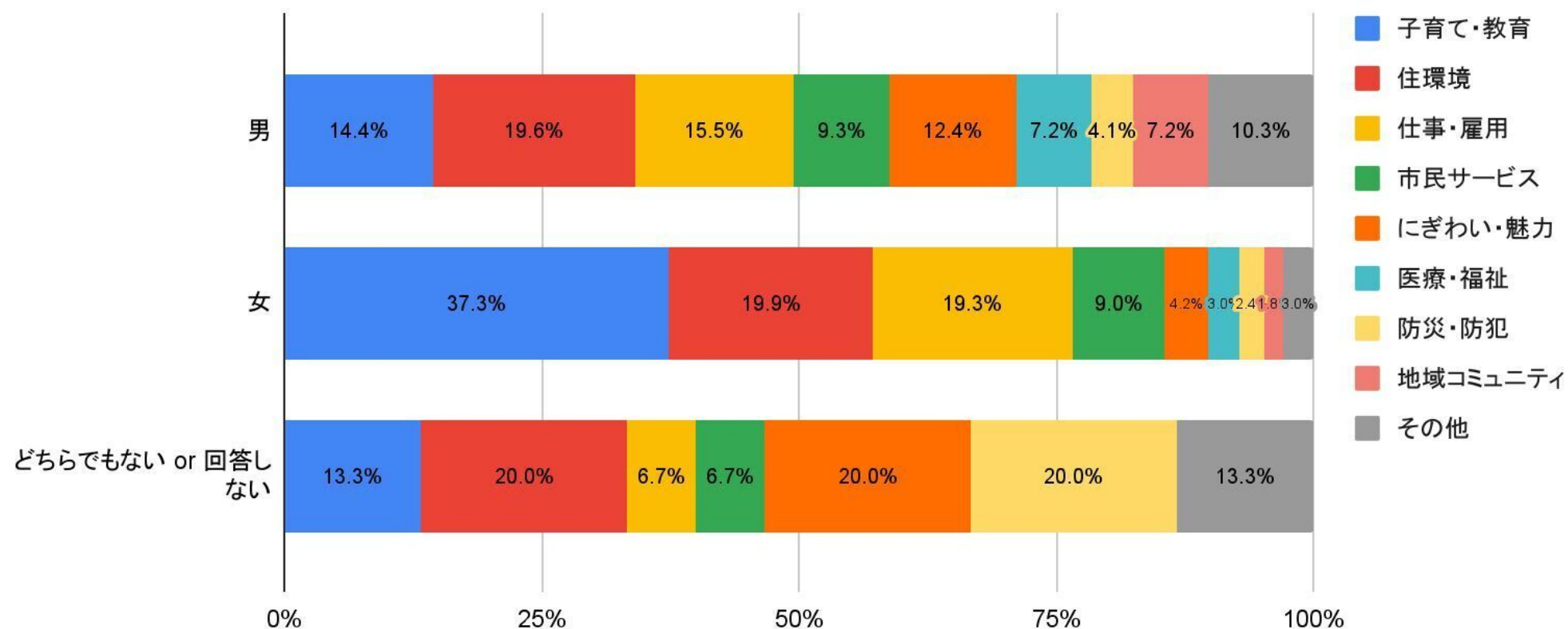
職業×カテゴリ



カテゴリごとの分析 | 性別とカテゴリのクロス分析

- 性別とカテゴリのクロス分析を行ったところ、以下のとおりとなった。

性別×カテゴリ



カテゴリごとの分析 | 名古屋市との関わりとカテゴリのクロス分析

- 名古屋市との関わりとカテゴリのクロス分析を行ったところ、以下のとおりとなった。

名古屋市との関わり×カテゴリ



具体的なコメントのピックアップ | 東京と比較したコメント

- とても住みやすく大好きな都市だが、子供の教育レベル(特に文化面)が東京より低いので、国際交流や芸術など文化的なレベルを上げられる施設やイベント、学校行事があると良いと思う。(名古屋市に居住・通勤・通学している・30代・女性・会社員・公務員)
- 2年前夫の転勤により横浜から一家転住してきました。子供は高校生と中学生です。名古屋市は医療費の助成や私立高校の補助金が充実しておりありがたいです。気になる点はバリアフリーがあまり進んでいないということです。横浜では駅構内にエスカレーター、エレベーターが整然と設置されているのが当たり前だったので、駅によっては(市営地下鉄しか利用したことはありませんが)階段しかない出入り口が普通にあり驚きました。私はペーパードライバーなので足の悪い実母が名古屋に来た際は観光地に案内するのに夫に運転してもらわなければならず少し困りました。また、ベビーカーにお子さんを乗せた利用客も横浜に比べて圧倒的に少なく感じます。あらかじめエレベーターの位置を把握していなければ安心して気軽に移動するのが困難なのではないかと思いました。(一部抜粋・名古屋市に居住・通勤・通学している・40代・女性・会社員・公務員)
- 緑あふれる空間が足りません。東京等は企業自ら緑地を作りますが名古屋ではそんな動きはなかなか起こりません。なぜでしょうか。まちづくりにそういう方針がないから、誘導や規制をしてないからです。総合計画に今頃グリーンインフラようやく入れましたが本気度見えません。人口減少社会、DX社会の中で癒しは必要で、緑の癒しが人にいいように作用することたくさん研究されています。GAFAの社屋はさながら植物園のような状況であることもその表れと聞きます。街路樹がいきなりきられ管理ばかり考えたハナミズキへ変貌。公園も同じです。買い物ばかりのきれいな公園が増えますが、多様な環境、多様ないきものがいて、子供たちの深みのある自然体験ができるような面白い名古屋を作っていただけませんか。苦情なんかに負けずに。東京は施策により緑被率回復している場所もあります。名古屋も目指しませんか癒しがあってすみやすく子供に面白くて尖った都市に。(名古屋市に居住・通勤・通学している・30代・男性・会社員・公務員)

具体的なコメントのピックアップ | 東京と比較したコメント

- 女性を真っ当な条件(寿退社がなく、企業側から結婚・出産への不当な圧力がなく、男性と同じような適切な給料・昇進を実施)で採用してくれる企業。名古屋市で生まれ育ちましたが、大学卒業・就職を機に東京に引っ越しました。（過去、名古屋市に居住・通勤・通学した・20代・女性・会社員・公務員）
- 以前に東京に住んでいました。最も大きな差を感じたのは図書館の在り方です。名古屋の図書館は古い書籍ばかりで、なかなか新しい書籍が追加されません。DVDやCDについても同じです。学生の活用頻度も低いと感じます。つまり、学力の差も生じている原因の一つでは？と思います。古書やほとんど借りられていない本はどこかに集中保管し、各区の図書館の本の見直しを実行してほしいです。よろしくお願いします。（名古屋市に居住・通勤・通学している・50代・男性・会社員・公務員）

全体考察

- 今回の意見募集では、20代から60代以上までの幅広い年代のユーザーから総計224件の回答を得ることができた。また、いいね数も432件(レポート作成時点)と、多くのユーザーが他ユーザーのコメントを閲覧し、リアクションも活発な状況であった。
- 名古屋市に居住・通勤・通学しているユーザーが9割以上となり、選択式設問「今後名古屋市に住み続ける予定ですか」についても、今後名古屋市に定住する予定のユーザーが約8割となり、未来の名古屋について必要なコト・モノについての意見を多く得ることができた。
- 自由コメントをカテゴライズしたところ、子育て・教育についてのコメント割合が一番多く、次いで住環境、仕事・雇用となった。
- **子育て・教育**については、主に子育て支援についてのコメントが多く、保育園・病児保育・一時預かり、トワイライトの時間延長要望など、仕事と育児の両立のため必要な支援について多くの要望があることが読み取れる。また、子育て支援センターなどへの要望、中学校給食導入の要望、PTAの負担削減などのコメントも寄せられた。
- **住環境**については、半数以上が公共交通機関（主にバス）の利便性の向上に関するコメントであり、交通に不便を感じているという事が読み取れる。また、道路整備、バリアフリー、住居、ごみの分別に関するコメントも寄せられた。
- **仕事・雇用**については企業の体制・慣習の刷新について求める声や、製造業以外の業種やスタートアップの誘致など、若者が就業先として名古屋市を選択するために必要な事についてのコメントが寄せられた。また、収入・障害者雇用についてのコメントなど、経済的に不安を感じている声も寄せられた。
- **市民サービス**については、半数以上が住民票のコンビニ交付などマイナンバーカードを使った行政サービスに関するコメントであった。

付録：ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示したもの。投稿されたコメントをもとに作成。
※ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）による分析

